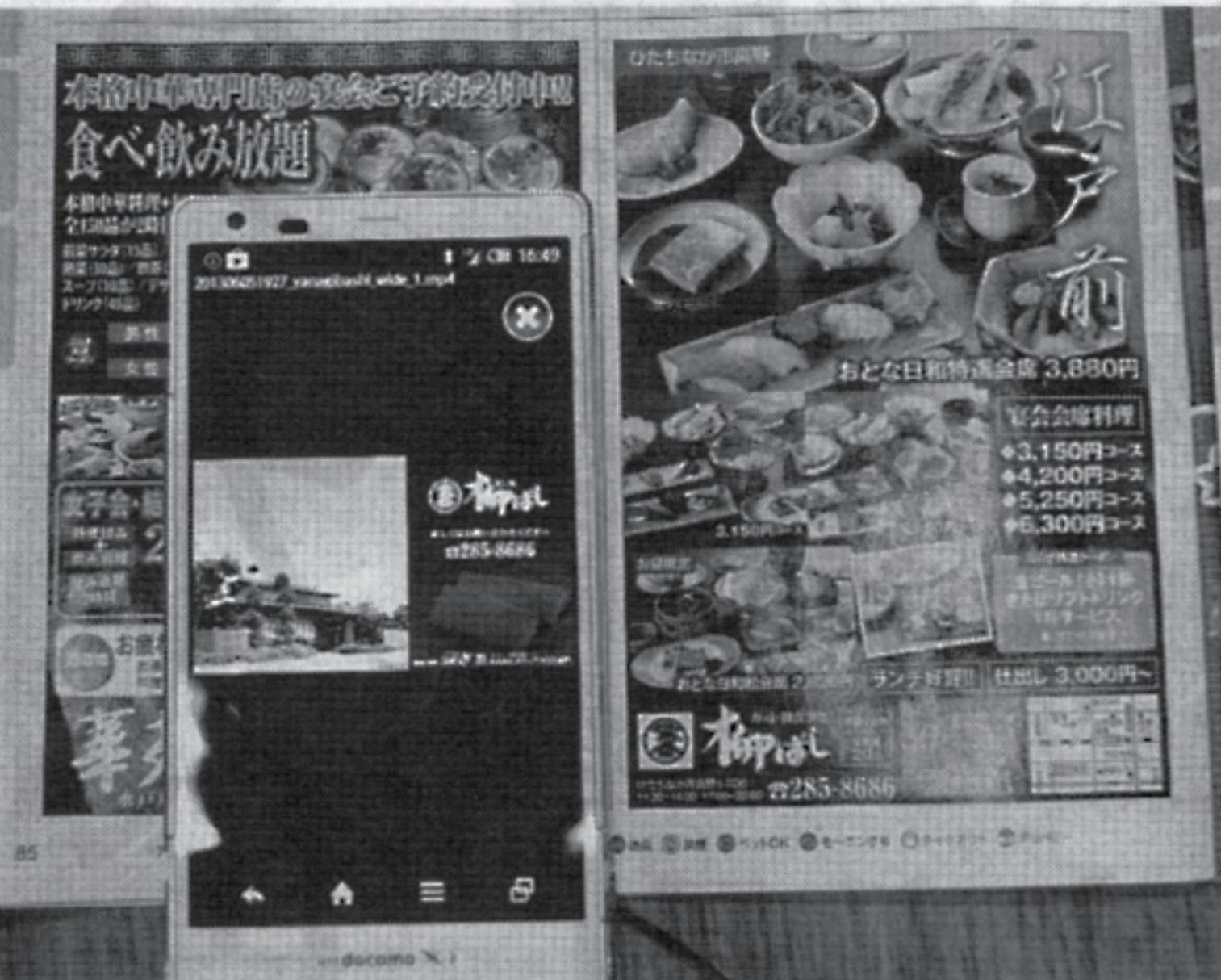


新サービスでは、スマートフォンのアプリを起動して印刷広告の上にかざすだけで動画広告が始まる

# メディアクロス水戸



## スマホ利用、新サービス

同社はまず、水戸市地域などで自社発行する地域情報誌「月刊ふらざ」を含む雑誌の広告主向けに利用を働き掛ける。高橋社長は「印刷とウェブ、動画をつなぐことで、広告の全体の価値を高めること

ができる」と話し、顧客の獲得や満足度向上につなげる。

例えば飲食店の雑誌広告では店内やメニューが動画で流れる。動画は顧客が持つ既存のものを使うほか、同社の社員による制作も手掛ける。

同社が6月から始めた「AR（拡張現実）広告サービス」は、消費者が無料のアプリを起動して印刷物の広告や記事などに端末をかざすと、自動で広告に関連したウェブサイトにつないだり動画広告を放映したりする。

例えば飲食店の雑誌広告では店内やメニューが動画で流れる。動画は顧客が持つ既存のものを使うほか、同社の社員による制作も手掛ける。

同社は1965年創業。印刷物の企画から加工までの一貫生産、ウェブ制作も手掛け

印刷や地域情報誌発行のメディアクロス水戸（水戸市酒門町、高橋裕社長）は、スマートフォン（多機能携帯電話）やタブレット端末のアプリケーションを利用し、印刷物の広告からウェブや動画に誘導する新サービスを始めた。従来のQRコード（バーコード）を読み取るよりも素早く動画を自動再生するのが特長。付加価値の高いサービスで広告主の獲得や満足度向上を図る。

# 印刷物から動画誘導

アプリは、同社がIT企業のスターティアラボ（東京）と使用特約を結び、情報誌制作に関わるグループの茨城弘報（広告代理）、ふらざ茨城（発行）、青山グラフィック（印刷）が連携する。

利用は印刷物だけでなく看板や年賀状、招待状、ポスターでも可能。同社は一般企業からの広告代理や動画制作の受託も幅広く取り扱いを考え。

印刷業界はインターネットの普及に伴い印刷量が減少傾向にあるといい、同社はネット系のメディアとの連携を進めている。

同社は1965年創業。印刷物の企画から加工までの一貫生産、ウェブ制作も手掛け